

2024.2.13 (火) -
3.30 (土)

※企画展の見学は、ミュージアム棟の事前予約制
通常ツアー(90分)へのご参加が必要です。
※2024年2月25日(日)ミュージアム棟“特別公開”
事前予約なしでご見学できます。

URまちとくらしのミュージアム
地下1F セミナールーム

事前予約制 入場無料

10:00~/13:00~/15:00~

開館時間/10:00~17:00

休館日/水曜・日曜・祝日

※復元住戸等、車いす等での移動が困難な場所があります。



◀公式サイト

お申し込み方法

左記のQRコードまたは下記URL
より来館予約をお願いします。

<https://akabanemuseum.ur-net.go.jp/>

お問い合わせ先

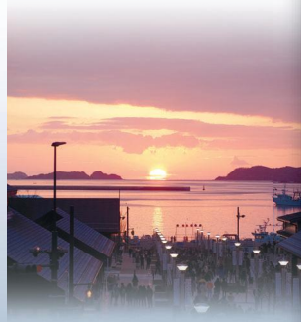
〒115-0053 東京都北区赤羽台1丁目4-50
TEL:03-3905-7550

東日本大震災

URまちとくらしのミュージアム企画展

被災地とともに

— URの復興支援のあゆみ



URふるさと応援
プロジェクト
三陸復興マルシェ開催!

2024.2.24 (土) - 25 (日)

10:00-16:00

場所:ミュージアム棟入口付近

ACCESS JR「赤羽」駅西口より徒歩8分



街に、ルネッサンス

UR 都市機構



URまちとくらしのミュージアム

URまちとくらしのミュージアム企画展 関連情報

2011(平成23)年3月11日、太平洋沿岸部の広範囲に甚大な被害をもたらした東日本大震災。

URでは、東日本大震災発災直後から様々な復興事業に携わり復興支援を行ってきました。そこで、復興支援を行った事業区域に生えていた樹木の子孫を、URまちとくらしのミュージアムに植樹することで、URの復興支援と東日本大震災の記憶と教訓を後世に遺してしていくこととしました。

植樹される樹木の種類は、古くから日本人に愛されてきた桜を選びました。被災地域で桜を用いた景観形成は数多く行われており、復興のシンボルとしても扱われています。

震災および復興について語り継がれることを願い、URが携わった事業地区である宮城県女川町と岩手県陸前高田市の桜が復興のシンボルとして、2024(令和6)年2月24日(土)、URまちとくらしのミュージアムに植樹されます。

植樹予定地



震災復興を語り継ぐ桜たち



宮城県牡鹿郡女川町 旧女川第二小学校のソメイヨシノ

旧女川第二小学校の校庭にあった桜は、復興の過程で伐採されることとなりました。伐採前に女川桜守りの会によって取り木が行われ、その一本を受け継ぐこととなりました。

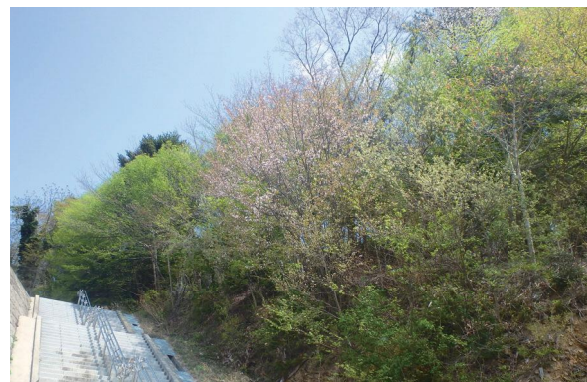


現地に生えていた姿



宮城県牡鹿郡女川町 旧女川第一中学校のヤマザクラ

旧女川第一中学校は小高い場所にあったため、辛うじて津波を逃れました。その敷地斜面に残った桜を接ぎ木し、その内の一本を受け継ぐこととなりました。



現地に生えていた姿



岩手県陸前高田市 本丸公園のヒガンザクラ

本丸公園は小高い丘にあり、東日本大震災では避難所としても機能し、令和3年9月に憩いと防災の場として改修整備されました。多くの方が避難した場所の桜を接ぎ木し、その内の一本を受け継ぐこととなりました。



現地に生えていた姿